

韓国 気候変動対策として東北部でのリンゴ栽培の拡大を計画

[FreshPlaza 2024年12月18日](#)

韓国政府は、気候変動への戦略的な対応として、^{カンウォンド}江原道に新たなリンゴ産地を開発する計画を発表した。この取り組みは、農業の持続可能性を高め、農業を将来の成長産業に変えることを目的とした、より広範な農業・農村革新戦略の一環である。リンゴの栽培面積は、2023年の931ヘクタールから2030年までに2千ヘクタールに拡大する予定である。この戦略には、スマート果樹園専用団地の設置や、生産性を最大化し労力を削減する自動化システムの活用が含まれている。

頻発する夏の熱波や寒波被害など、気候変動の影響を緩和するため、政府は生産インフラや災害予防施設を増強する。作物被害対応マニュアルを配布し、迅速な災害対応のための支援を行う。他方、夏キャベツのパイロットプロジェクトでは、通常の栽培面積の約20%に生産団地を設置することを目指して、新たな産地を模索する。

出典: [Chosun Biz](#)

ニュージーランド 2024年のキウイ輸出額は史上最高の35億NZドル

[FreshPlaza 2024年12月20日](#)

ニュージーランド統計庁(Stats NZ)によると、2024年シーズンのニュージーランドのキウイフルーツ輸出額は35億NZドルで、2023年シーズンに比べて10億ドル(44%)増加した。キウイフルーツの収穫期は3月から11月までで、ゴールドキウイフルーツは通常、グリーンキウイフルーツよりも単価が高い。国際会計に関する広報担当であるヴィキ・ウォード氏は、キウイフルーツの価格は安定しており、輸出額の急増は主に数量の増加によるものだと指摘した。

ウォード氏は、「これは、昨年の気象災害の後の業界にとっての大きな回復であり、歴史的な高水準に戻った」と述べた。2024年11月までの1年間のニュージーランドの果実輸出額の73%(34億5,600万NZドル)をキウイフルーツが占め、一方リンゴは21%(9億7,900万NZドル)であった。また、リンゴとアボカドの輸出額は、それぞれ1億1,800万NZドル及び3,300万NZドル増加し、アボカドの輸出の大部分がオーストラリア向けであったことも示された。2024年11月までの1年間の果実輸出総額は47億NZドルと報告された。

出典: [SunLive](#)

(1NZドル=約88円)